

平成 30 年度古河市当初予算のポイント

1. 予算編成の基本的考え方

古河市において平成 30 年度は、「第 2 次総合計画」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定から 3 年目となり、これらの施策展開を着実に推進していく重要な年度である。

予算編成にあたっては、中長期的な財政構造の変化に柔軟に対応しつつ、「市民と共に未来に誇れるまちづくり」をめざし、本市の更なる飛躍と発展のため各施策の着実な推進に努めた。

特に国と連動した地方創生の着実な取り組みとともに、人口減少社会の到来を踏まえ、本市の将来を切り拓いていく施策・事業への予算の重点化を図った。

2. 予算の概要

(1) 予算規模

① 一般会計予算額 **505.5 億円**
(対前年度 △6 億 5,000 万円 △1.3%)

一般会計予算規模は、対前年度では 6 億 5 千万円、1.3%の減となった。

(単位：百万円、%)

会計名	H30 当初	H29 当初	比較増減額	増減率
一般会計	50,550	51,200	△650	△1.3
特別会計	35,931	38,973	△3,042	△7.8
小計	86,481	90,173	△3,692	△4.1
水道事業会計	4,777	4,964	△187	△3.8
合計	91,258	95,137	△3,879	△4.1

※水道事業会計は収益的支出と資本的支出の合計

(2) 歳入(一般会計) <※大綱 p.2>

① 市税 <※大綱 p.3> **203 億 5,900 万円**
(対前年度 +4 億 3,500 万円 +2.2%)

市税は、たばこ税の減収が見込まれるものの、新築家屋の増等による固定資産税及び都市計画税のそれぞれの増収が見込まれることにより、全体で 4 億 3,500 万円、2.2%の増

② 地方消費税交付金 〈※大綱 p.4〉 24 億 8,000 万円

(対前年度 +2 億 3,000 万円 +10.2%)

地方消費税交付金は、対前年度で 2 億 3,000 万円、10.2%の増となっている。地方消費税率の引き上げ（1%→1.7%）に伴う市町村交付金の増分（0.7%）全体額 10.3 億円は、子どものための教育・保育給付事業、介護保険事業、生活保護費、後期高齢者医療費等の社会保障施策関連経費に充当する。

③ 地方交付税 〈※大綱 p.4〉 64 億円

(対前年度 △4 億 8,000 万円 △7.0%)

地方交付税は、普通交付税において臨時財政対策債の公債費算入分の増による基準財政需要額の増額を見込む一方、新築家屋の増に係る固定資産税の増による基準財政収入額の増額及び合併算定替の段階的縮減を見込み、対前年度 4 億 8,000 万円、7.0%の減

④ 地方債 〈※大綱 p.5〉 40 億 9,000 万円

(対前年度 △6 億 2,300 万円 △13.2%)

・合併特例債発行額 15 億 7,910 万円

(対前年度 △2 億 3,000 万円 △12.7%)

平成 30 年度末現在見込み (単位：億円)

発行額計	発行可能額	発行残額
381.4	486.8	105.4

・臨時財政対策債発行額 19 億 5,000 万円

(対前年度 △2 億円 △9.3%)

(3) 財源の状況等（一般会計）

① 一般財源総額 〈※大綱 p.7〉 339 億 7,300 万円

(対前年度 △1 億 6,400 万円 △0.5%)

・地方交付税 + 臨時財政対策債 83 億 5,000 万円

(対前年度 △6 億 8,000 万円 △7.5%)

地方交付税と臨時財政対策債を合わせた実質的な地方交付税は対前年度で 6 億 8,000 万円、7.5%の減

② 地方債依存度 <※大綱 p.9> 8.1%

(対前年度 △1.1%)

歳入総額に占める地方債の割合（地方債依存度）は 8.1%となり、前年度対比 1.1%の減

(4) 将来負担等（見込）

① 将来負担比率（見込） <※大綱 p.10> 82.0%

(対前年度 +0.7%)

将来負担額のうち普通交付税算入見込額及び県補助金等特定財源を除いた実質的な市負担額は、206 億円程度で推移する見込み

将来負担比率は、早期健全化団体とされる基準「350%」を下回る値で推移

② 実質公債費比率（見込） <※大綱 p.10> 9.0%

(対前年度 +0.7%)

実質公債費比率は、早期健全化団体とされる基準「25%」を下回る 10%前後の値で推移

(5) 歳出（一般会計）

① 性質別経費

(ア) 義務的経費 <※大綱 p.11> 265 億 6,900 万円

(対前年度 +5 億 7,600 万円 +2.2%)

扶助費は、障害福祉介護給付等事業や子どものための教育・保育給付事業等の増加により、3 億 5,500 万円、2.8%の増。また、公債費においても合併特例債、臨時財政対策債の元利償還金の増加により、1 億 6,800 万円、2.8%の増加となり、全体で 5 億 7,600 万円、2.2%の増

(イ) 普通建設事業費 <※大綱 p.12> 34 億 4,400 万円

(対前年度 △6 億 3,900 万円 △15.7%)

三和健康ふれあいスポーツセンターへの耐震性貯水槽の設置、中央運動公園陸上競技場の改修、及び(仮称)三和地域交流センター建設工事等の完了に伴い、6 億 3,900 万円、15.7%の減

② 主な目的別経費

(ア) 総務費	〈※大綱 p.13〉	45 億 900 万円
---------	------------	-------------

(対前年度 △1 億 4,200 万円 △3.1%)

防犯灯の LED 化リース事業の導入、地域公共交通網形成計画や公共施設の適正配置計画策定に要する経費、耐震強度不足のため利用制限している総和庁舎旧館における施設解体に向けた調査・設計費を計上

(イ) 民生費	〈※大綱 p.13〉	214 億 4,300 万円
---------	------------	----------------

(対前年度 +4 億 2,400 万円 +2.0%)

平成 30 年 4 月より、0 歳から中学 3 年生までを対象とした医療費自己負担額の無料化に要する経費、子育て拠点の整備として古河赤十字病院跡地への上辺見保育所の移転・建築工事費及び当施設西側への民間活力導入に向けた調査費、八俣小学校児童クラブの整備に要する経費を計上

(ウ) 衛生費	〈※大綱 p.13〉	33 億 1,200 万円
---------	------------	---------------

(対前年度 △1 億 4,600 万円 △4.2%)

平成 30 年度より、新たに新生児聴覚検査への助成に要する経費及び産婦に対する健康診査への助成に要する経費を計上。老朽化が著しい古河市斎場における施設改修計画策定経費を計上

(エ) 商工費	〈※大綱 p.13〉	9 億 6,000 万円
---------	------------	--------------

(対前年度 △1,000 万円 △1.0%)

企業誘致や定住促進を図るための企業立地促進奨励金、若者・子育て世帯定住促進奨励金を計上。道の駅まくらがの里こがの駐車場拡張に向けた調査費を計上

(オ) 土木費	〈※大綱 p.13〉	54 億 200 万円
---------	------------	-------------

(対前年度 △2,600 万円 △0.5%)

幹線道路網の充実と安全で快適な生活道路を確保するため、柳橋下大野線（筑西幹線道路の延伸）や仁連江口線の幹線道路の整備に要する経費、生活道路の維持管理に要する経費、未改良の生活道路の整備費を計上

(カ) 消防費	〈※大綱 p.13〉	20 億 1,100 万円
---------	------------	---------------

(対前年度 △1 億 8,900 万円 △8.6%)

地域防災力の中核として欠かせない消防団員の処遇改善を図るための訓練手当の引き上げに要する経費、防災行政無線の屋外拡声子局におけるデジタル化への更新整備に要する経費を計上

(キ) 教育費	〈※大綱 p.13〉	49 億 9,100 万円
---------	------------	---------------

(対前年度 △7 億 4,400 万円 △13.0%)

小学校の学習環境の充実を図るためのタブレット型端末機の整備に要する経費を計上。(仮称)三和地域交流センターにおける平成 30 年 10 月開館に向けた経費、生涯スポーツの振興を図るためのスポーツ推進計画策定経費、茨城国体に向けたリハーサル大会開催経費を計上

(6) 特別会計及び水道事業会計

特別会計	〈※大綱 p.15〉	359 億 3,100 万円
------	------------	----------------

(対前年度 △30 億 4,200 万円 △7.8%)

国民健康保険特別会計（事業勘定）は、制度改正（運営主体が市県共同に変更）及び医療給付費の減少による事業費の減

古河駅東部土地区画整理事業特別会計は、街路事業の減少による事業費の減

仁連地区新産業用地開発事業特別会計は、事業用地購入の終了による事業費の減

介護保険特別会計(保険事業勘定)は、高齢人口の増による対象者の増加、新たな介護予防・日常生活支援総合事業によるサービスの拡充による事業費の増

水道事業会計	〈※大綱 p.16〉	47 億 7,700 万円
--------	------------	---------------

(対前年度 △1 億 8,700 万円 △3.8%)

※ 水道事業会計予算額は、収益的支出と資本的支出の合計とした

水道事業会計は、収益的支出は給水装置の修繕に係る費用の増加や、水道施設の適切な管理と計画的な更新を図るための台帳整備等により、5,400 万円の増

資本的支出は配水管拡張工事、思川浄水場建設改良工事の減少等により、2 億 4,100 万円の減。その財源となる収入は、事業費の減少に伴う起債額と負担金収入の減により、7,700 万円の減

3. 主な施策の概要

〈※大綱 p.17～26〉

予算額（単位：千円）

（１）市民協働		
① 地域コミュニティ団体への運営支援		163,442
・自治組織に対する財政的支援		150,716
・コミュニティ活動及び未設立地区への財政支援		12,726
② 男女共同参画の推進		1,739
③ 市民ニーズの把握（市民アンケート調査）	拡充	3,115
④ 在住外国人への支援		3,859
（２）健康福祉		
① 高齢者福祉の充実		212,887
・高齢者の自立支援に向けた取組の推進		7,019
・介護予防・生活支援サービスの提供		188,100
・介護予防ケアマネジメントの実施		17,768
② 母子保健の推進（新生児聴覚検査費の助成）	新規	3,788
③ 妊娠・出産・育児の切れ目ない支援体制の構築（産婦健康診査の助成）	拡充	16,970
④ 子どもに対する医療費の助成（自己負担額の無料化：0歳から中3まで）	拡充	248,775
⑤ 子育て支援の拠点の整備	拡充	602,428
・古河赤十字病院跡地への上辺見保育所の移転・建替え		588,428
・子育て拠点施設西側への新たな機能導入		14,000
（３）教育文化		
① 個に応じた教育の推進		180,455
・途切れのない英語教育（小学校に外国語指導助手（ALT）を配置）		62,690
・チーム・ティーチング授業の展開		117,765
② 学習環境の充実（小学校にタブレット型端末、大型デジタルテレビを整備）	拡充	69,176
③ 子どもの居場所づくり（八俣小学校児童クラブ施設の整備）	新規	5,543
④ 生涯スポーツの振興（スポーツ推進計画の策定）	新規	3,000
⑤ 茨城国体への対応の推進	拡充	6,200
⑥ 生涯学習施設等の各種整備と効果的な管理・運営（（仮称）三和地域交流センターの開館）		95,435

予算額（単位：千円）

（４）産業労働		
① 商業活性化への支援（古河マルシェの開催支援等）		13,100
② 企業誘致の促進（企業立地促進奨励金の交付等）		446,906
③ 企業誘致にともなう定住促進（若者・子育て世帯定住促進奨励金）		87,600
④ 産地の知名度向上の推進（青果物銘柄産地のPR等）		4,382
⑤ 観光イベントの充実（観光イベント、伝統的な祭りの開催支援）		49,462
⑥ 古河の魅力を高めるブランド価値の創造（ふるさと納税の推進）		216,862
（５）生活環境		
① 夜間の犯罪防止（防犯灯維持管理、防犯灯LED化リース事業の導入）		63,059
② 空家対策の推進		799
③ 斎場の整備・充実（古河市斎場施設改修計画の策定）	新規	4,860
④ 駅周辺の環境美化・防犯・交通安全の強化（北サイクルセンター定期更新機の設置等）	拡充	13,061
（６）都市基盤		
① 幹線道路ネットワークの充実		610,364
・柳橋下大野線の整備（筑西幹線道路の延伸）		404,838
・仁連江口線の整備（三和交番から仁連工業団地(約1.3km)までの先行整備）	拡充	205,526
② 身近な生活道路の整備		1,013,729
・生活道路の維持・管理（長寿命化計画に基づく舗装修繕工事）	拡充	607,636
・生活道路の新設改良		406,093
③ 持続可能な公共交通網の形成（地域公共交通網形成計画の策定）		6,286
④ 計画的な土地利用と都市計画の推進		1,294,715
・都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の策定		12,830
・仁連地区の新産業用地整備		1,281,885
⑤ 良好な市街地や集落地の整備		1,108,992
・古河駅東部土地区画整理事業		1,099,340
・駅南土地区画整理事業（住民参加による整備方針の策定）	拡充	9,652
（７）行財政		
① 行政経営基盤の確立（行政事業レビューの実施）		1,556
② 人材育成の推進（古河市人材育成ビジョンに基づく職員研修等）		5,874
③ 公共施設サービスの充実（総和庁舎旧館解体調査・設計）	新規	15,680

4. 古河市ふるさと振興基金の活用 〈※大綱 p.27～29〉

ふるさと振興基金繰入金

1億5,650万円

◇ふるさと振興基金活用事業一覧

(単位：千円)

(1)【市民協働】 地域のみんなで古河(まち)をつくる	1,000
①インターネット広報事業 予算額:4,337千円【活用額】1,000千円	
(2)【健康福祉】 互いに支え合う古河(まち)をつくる	10,000
①子育て支援拠点整備事業 予算額:588,428千円【活用額】7,000千円	
②子育て支援拠点施設西側民活導入支援事業 予算額:14,000千円【活用額】3,000千円	
(3)【教育文化】 人が育ち文化の息づく古河(まち)をつくる	28,000
①スポーツ推進計画策定事業 予算額:3,000千円【活用額】3,000千円	
②(仮称)三和地域交流センター建設事業 予算額:88,959千円【活用額】10,000千円	
③八俣小学校児童クラブ施設整備事業 予算額:5,543千円【活用額】5,000千円	
④古河市郷土読本制作事業 予算額:10,000千円【活用額】10,000千円	
(4)【産業労働】 活力と賑わいのある古河(まち)をつくる	8,000
①青果物銘柄産地育成事業 予算額:4,382千円【活用額】1,000千円	
②ふるさと納税観光交流ツーリズム事業 予算額:2,000千円【活用額】2,000千円	
③観光散策アプリ開発事業 予算額:5,000千円【活用額】5,000千円	
(5)【生活環境】 安全で快適な古河(まち)をつくる	4,000
①斎場施設機能整備事業 予算額:4,860千円【活用額】4,000千円	
(6)【都市基盤】 魅力的で利便性の高い古河(まち)をつくる	5,000
①駅南土地地区画整理事業 予算額:9,652千円【活用額】5,000千円	
(7)【行財政】 古河(まち)づくりを支える行政運営	100,500
①公共施設等総合管理推進事業 予算額:2,452千円【活用額】500千円	
②基金管理事業(子ども夢基金積立) 予算額:100,000千円【活用額】100,000千円	